

# 特装車 メンテナンスニュース

背負い式ゲート編

No. 47 2019・2

## 安全点検制度対象背負い式ゲート



### 背負い式ゲートの点検整備でトラブルを未然防止

『背負い式ゲートは毎日の荷役作業により駆動部および可動部に高い負荷が掛かっております』  
背負い式ゲートを快適に使用するためには、定期点検で装置の状態を把握するとともに、作動油・油圧ホース・ピン・ブッシュ等の消耗部品について定期的な交換が必要です。

※テールゲートリフタ装置での荷役作業は、必ず取り扱い説明書に記載されている最大荷重を守ってください。  
最大荷重を超える積荷を載せると、装置に無理な荷重が掛かり重大な故障事故の原因となります。

### 《日常点検・定期点検整備・消耗部品交換を怠ると大変危険です!!》

★劣化した作動油を使い続けると、油圧装置（パワーユニット・コントロールバルブ・シリンダ等）の油漏れやカジリ・焼付き・破損等の原因となります。

★給脂（グリスアップ等）をしない状態で使い続けるとアームやリンク機構等の駆動部、可動部からの異音や摩耗・カジリ・焼付き・錆び・固着により破損・変形等の原因となります。

★凍結防止剤が散布されている道路を走行した時は、塩害により腐食の原因となります。

パワーユニット作動油劣化



連結ピン摩耗



油圧ホースパンク



給脂不足による摩耗・破損



プラットホーム全体腐食



アーム曲がり



パワーユニット内配線腐食



シリンダメッキ剥離



アース腐食



シリンダ油漏れ



背負い式ゲートは<sup>(注)</sup>「架装物安全点検制度」対象製品です、日常点検および年次点検整備を実施いたしましょう。

- 一日のお仕事の前には必ず作業前点検（日常点検）を実施いたしましょう。（油漏れ・異音・損傷・ガタ等）
- 給脂（グリスアップ等）は各メーカー指定のグリスにて給脂ねがいます。（取り扱い説明書参照）
- 作動油は各メーカーが指定する銘柄と時期にしたがい交換ねがいます。（取り扱い説明書参照）
- 油圧ホースは定期交換部品です。各メーカー純正油圧ホースを使用ねがいます。
- 凍結防止剤が散布されている地域を走行した際は、必ず洗車を実施しましょう。

(注) 架装物安全点検制度導入については、特装車メンテナンスニュース No.44 を参照してください。

※道路運送車両法 第47条の2（点検）第48条（定期点検）は使用者、運行する者に義務付けられています。 貨物自動車運送事業輸送安全規則 第13条（点検整備）

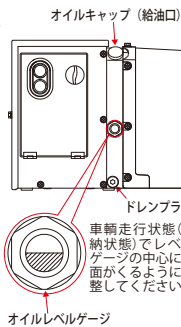
# 作動油交換・給脂（グリスアップ）はなぜ必要か？

- ★油圧装置は高い圧力で作動油が流れるため、著しい温度変化や化学変化による酸化、また作動部分から侵入する水分や鉄粉等により作動油の劣化が進みます。  
劣化した作動油を使い続けると、油圧装置（パワーユニット・コントロールバルブ・シリンダ等）の油漏れやカジリ・焼付き・破損等の原因となります。
- ★可動部には常に高い荷重・摩擦抵抗が掛かっています。  
給脂（グリスアップ等）をしない状態で使い続けるとアームやリンク機構等の駆動部・可動部からの異音や摩耗・カジリ・焼付き・錆び・固着等により破損・変形等の原因となります。  
特に高い荷重が掛かる部分では可動部の固着・カジリ・焼付き現象が発生し最悪の場合は破損する事もあります。  
また油分（油膜）がなくなり、空気や水を遮断できず錆びが発生し固着の原因となります。

## 作動油の管理とグリスアップが必要な箇所

### （参考例）作動油点検・交換

- ※作動油交換・容量は各社取り扱い指示にしたがってください。  
背負い式ゲートの故障を未然に防ぎ、寿命を長くするためには、作動油の定期的な交換が必要です。  
作動油の交換時期については下表をご参照がいます。  
また、作動油が少なくなった場合は規定レベル位置まで補給がいます。
- ※作動油が少なくなった場合は、油漏れ等が考えられますので直ちに点検をおこなってください。
- ※オイルタンクの給油口にはホースで水をかけたり高压（スチーム）洗浄を噴射しないでください。  
オイルタンク内に水が混入し作動不良の原因となります。



**グリスはメーカー推奨品を使用してください!**

カートリッジ  
グリスガン

※給脂箇所は各メーカーの取り扱い説明書を参照がいます。

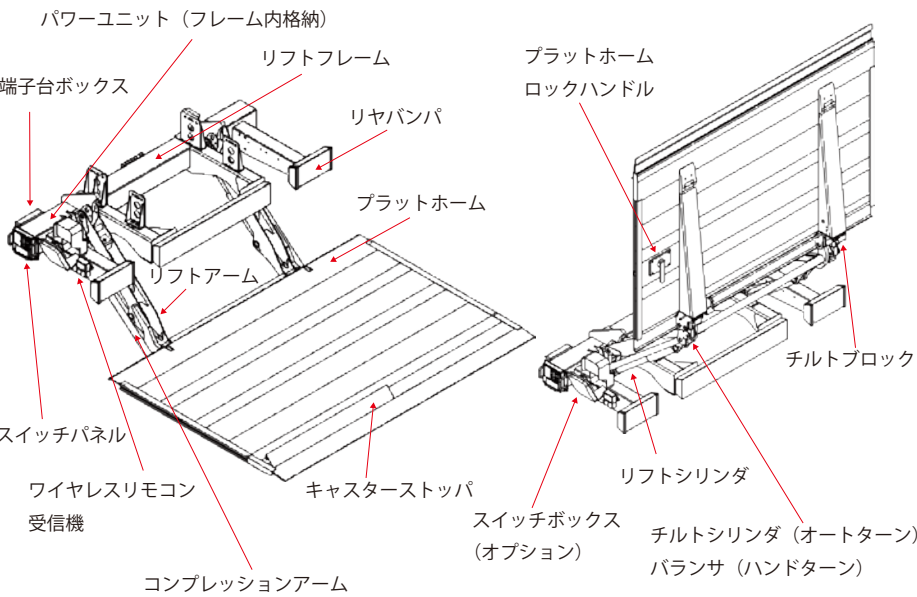
### （参考例）グリス給脂箇所

時期	要領	種類
1ヵ月ごと	適量	シャングリス

※テールゲートリフト装置は洗車を行った場合、必ず給脂を行ってください。  
※給脂箇所（例）グリス給脂箇所は各社取り扱い説明書を参照がいます。

## 背負い式ゲートの各部名称と点検箇所（名称・点検箇所は取り扱い説明書を参照してください）

### 【各部の取り付け状態（損傷・変形等）・ゲートの作動状態・給脂状態のチェック（参考例）】



3年間保存  
お客様へのお問い合わせの際は、本紙（コピー）は車検証とともに大切に保管してください。

テールゲートリフト点検実施記録簿

点検箇所	点検項目	点検方法	結果
作動確認	昇降	目視・操作	○
	戻り	目視・操作	○
	キヤスターストップ	目視・操作	○
	キヤスターストップロック	目視・操作	○
	オートロック	目視・操作	○
	チルトブロック	目視・操作	○
	安全装置	目視・操作	○
	目視確認	目視	○
	上昇時	目視	○
	下降時	目視	○
作動時間	開閉時間	秒	○
	閉鎖時間	秒	○
	閉鎖時間	秒	○
	閉鎖時間	秒	○
	入り時間	秒	○
床面上下	mm	目視・比較	○
	目視・操作	目視	○
パワーユニット	作動油の汚れ	目視・指触	○
	作動油の量	目視・油圧計	○
油圧配管、油圧ホース	配管の腐食、接続、圧力のゆるみ	目視、ホース	○
	腐食、劣化、亀裂	目視、指触	○
シリンダ	圧力のゆるみ、腐食	目視	○
	目視	目視	○
電気	メインスイッチの接続、線配確認	目視・操作	○
	操作スイッチの接続、線配確認	目視・操作	○
センサ	センサリニアスイッチの接続、機能確認	目視・操作	○
	目視・操作	目視・操作	○
配線の腐食、接続、端子のゆるみ	目視	目視	○
	目視	目視	○
各部点検	リフトアーム	目視	○
	リフトシリンダ	目視	○
	チルトシリンダ（オートターン）	目視	○
	チルトブロック	目視	○
	リヤバンパ	目視	○
	キャスターストップ	目視	○
	チルトシリンダ（オートターン）	目視	○
	チルトシリンダ（オートターン）	目視	○
	チルトシリンダ（オートターン）	目視	○
	チルトシリンダ（オートターン）	目視	○
安全装置	目視	目視	○
	目視	目視	○
プラットホーム	目視	○	
プラットホーム	目視	○	
キヤスターストップ	目視	○	
キヤスターストップ	目視	○	
開閉スクリュー・チェーンバー	目視	目視	○
チェーン	目視	目視	○
チェーン	目視	目視	○
チェーン	目視	目視	○
チェーン	目視	目視	○

（備考欄）

修理の見積もりは必要ですか？  
 見積もりを依頼します  
 見積もりは不要です

お客様サイン

一般社団法人 日本自動車車体工業会 テールゲートリフト技術分科会 推奨フォーム

各メーカー指定のサービス工場で年次点検を実施した車両には架装物年次点検（済）ステッカーを貼付いたします。



※本ステッカーは、架装物の安心・安全の指標としてご利用いただいております。  
なお、架装物の安全点検制度に必要なツールを準備し車工に登録したメーカー・指定サービス工場が貼付できます。

※特装車の点検整備・部品交換は専門的な技術と設備のある、各メーカー指定サービス工場でお受けください。

一般社団法人 日本自動車車体工業会 特装部会 サービス委員会